

令和6年度
(2024年度)

決算等審査意見書

稻城・府中墓苑組合監査委員

写

7 稲府墓監発第 7 号
令和 7 年 9 月 30 日

稻城・府中墓苑組合管理者
高 橋 勝 浩 殿

稻城・府中墓苑組合監査委員
岩 藤 真 実
稻城・府中墓苑組合監査委員
松 村 祐 樹

令和 6 年度稻城・府中墓苑組合一般会計・墓地特別会計歳入歳出決算
及び各基金の運用状況を示す書類の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定に基づき審査に付された令和 6 年度稻城・府中墓苑組合一般会計・墓地特別会計歳入歳出決算及び同法第 241 条第 5 項の規定に基づき審査に付された令和 6 年度稻城・府中墓苑組合各基金の運用状況を示す書類について審査した結果、別紙のとおり意見を付します。

- * 小数点以下の表示は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。
- * 該当の数字がないものは「—」と表示した。

令和6年度稲城・府中墓苑組合一般会計及び墓地特別会計
歳入歳出決算の審査意見書

1 審査等の種類

地方自治法第233条第2項の規定及び稲城・府中墓苑組合監査基準に基づく決算審査

2 審査の対象

令和6年度稲城・府中墓苑組合一般会計歳入歳出決算書、墓地特別会計歳入歳出決算書及び関係書類

3 審査の手続及び着眼点並びに実施内容

審査に当たっては、提出された決算書が法令に従い調製及び作成されているか、計算に間違いはないか、支出命令等に符号しているか、収支は適法であるか等に主眼を置き、書類審査及び職員の聴取により実施した。

4 審査の実施場所及び日程

実施場所：公営 稲城・府中メモリアルパーク 南山ホール2階洋室
日 程：令和7年7月28日

5 審査の結果

審査に付された決算及び証書類は、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されており、かつ証拠書類と照合したところ、計数に誤りはないものと認められた。

1 決算の規模と収支状況

令和6年度稻城・府中墓苑組合一般会計及び墓地特別会計の歳入歳出決算は次のとおりである。

(1)一般会計歳入歳出決算

(単位：円)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
94,885,710	78,846,842	16,038,868	0	16,038,868

この決算額の対前年度との比較は次のとおりである。

(単位：円、%)

区分	年度	令和6年度	令和5年度	対前年度	
				増減額	増減率
歳入総額 A		94,885,710	87,887,728	6,997,982	8.0
歳出総額 B		78,846,842	74,224,836	4,622,006	6.2
歳入歳出差引額 (A-B) C		16,038,868	13,662,892	2,375,976	17.4
翌年度へ繰り 越すべき財源 D		0	0	0	0
実質収支額 (C-D) E		16,038,868	13,662,892	2,375,976	17.4
前年度実質収支額 F		13,662,892	12,449,411	1,213,481	9.7
単年度収支額 (E-F) G		2,375,976	1,213,481	1,162,495	95.8

本年度の一般会計の歳入総額は9,488万5,710円で、前年度と比較すると699万7,982円(8.0%)の増となっている。歳出総額は7,884万6,842円で、前年度と比較すると462万2,006円(6.2%)の増となっている。

本年度の歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は1,603万8,868円で、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額は1,603万8,868円となっている。

(2)墓地特別会計歳入歳出決算

(単位：円)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
571, 472, 888	555, 330, 056	16, 142, 832	0	16, 142, 832

この決算額の対前年度との比較は次のとおりである。

(単位：円、%)

区分	年度	令和6年度	令和5年度	対前年度	
				増減額	増減率
歳入総額	A	571, 472, 888	574, 777, 165	△ 3, 304, 277	△ 0.6
歳出総額	B	555, 330, 056	562, 313, 952	△ 6, 983, 896	△ 1.2
歳入歳出差引額 (A-B)	C	16, 142, 832	12, 463, 213	3, 679, 619	29.5
翌年度へ繰り 越すべき財源	D	0	0	0	0
実質収支額 (C-D)	E	16, 142, 832	12, 463, 213	3, 679, 619	29.5
前年度実質収支額	F	12, 463, 213	8, 832, 872	3, 630, 341	41.1
単年度収支額 (E-F)	G	3, 679, 619	3, 630, 341	49, 278	1.4

本年度の墓地特別会計の歳入総額は5億7,147万2,888円で、前年度と比較すると330万4,277円(0.6%)の減となっている。歳出総額は5億5,533万56円で、前年度と比較すると698万3,896円(1.2%)の減となっている。

本年度の歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は1,614万2,832円で、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額は1,614万2,832円となっている。

2 歳入の状況

(1) 一般会計歳入決算

本年度の予算現額は8,794万4,000円で、調定額は9,488万5,710円、収入済額は9,488万5,710円、予算現額に対する収入率は107.9%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	不納 欠損額	収入 未済額
令和6年度	87, 944, 000	94, 885, 710	94, 885, 710	107.9	0	0
令和5年度	87, 093, 000	87, 887, 728	87, 887, 728	100.9	0	0
増減額	851, 000	6, 997, 982	6, 997, 982	—	0	0
増減率	1.0	8.0	8.0	—	0.0	0.0

(2) 墓地特別会計歳入決算

本年度の予算現額は6億632万9,000円で、調定額は5億7,147万2,888円、収入済額は5億7,147万2,888円、予算現額に対する収入率は94.3%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	不納 欠損額	収入 未済額
令和6年度	606,329,000	571,472,888	571,472,888	94.3	0	0
令和5年度	611,724,000	574,777,165	574,777,165	94.0	0	0
増減額	△ 5,395,000	△ 3,304,277	△ 3,304,277	—	0	0
増減率	△ 0.9	△ 0.6	△ 0.6	—	0.0	0.0

3 歳出の状況

(1) 一般会計歳出決算

本年度の予算現額は8,794万4,000円で、支出済額は7,884万6,842円、翌年度繰越額はなく、不用額は909万7,158円、執行率は89.7%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
令和6年度	87,944,000	78,846,842	89.7	0	9,097,158
令和5年度	87,093,000	74,224,836	85.2	0	12,868,164
増減額	851,000	4,622,006	—	0	△ 3,771,006
増減率	1.0	6.2	4.5	0.0	△ 29.3

(2) 墓地特別会計歳出決算

本年度の予算現額は6億632万9,000円で、支出済額は5億5,533万56円、翌年度繰越額はなく、不用額は5,099万8,944円、執行率は91.6%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
令和6年度	606,329,000	555,330,056	91.6	0	50,998,944
令和5年度	611,724,000	562,313,952	91.9	0	49,410,048
増減額	△ 5,395,000	△ 6,983,896	—	0	1,588,896
増減率	△ 0.9	△ 1.2	△ 0.3	0.0	3.2

(3) 島出の性質別比較（普通会計）

島出の性質別比較は、普通会計によるものとし、次表のとおりである。なお、普通会計とは地方公共団体の会計のうち公営事業会計を除く会計を統合したものであり、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分である。

(単位：千円、%)

区分	令和6年度		令和5年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人件費	61,742	10.2	58,320	9.6	3,422	5.9
物件費	50,588	8.3	45,043	7.4	5,545	12.3
維持補修費	1,429	0.2	837	0.1	592	70.7
扶助費	120	0.0	120	0.0	0	0.0
補助費等	12,036	2.0	12,211	2.0	△ 175	△ 1.4
公債費	189,992	31.3	189,992	31.1	0	0.0
積立金	291,801	48.0	303,743	49.8	△ 11,942	△ 3.9
合計	607,708	100.0	610,266	100.0	△ 2,558	△ 0.4

(4) 島出の目的別比較（普通会計）

島出の目的別比較は、普通会計によるものとし、次表のとおりである。なお、区分については、地方財政統計上用いられているもので、決算書における予算科目とは計上が異なる。

(単位：千円、%)

区分	令和6年度		令和5年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
議会費	1,405	0.2	1,819	0.3	△ 414	△ 22.8
総務費	487	0.1	455	0.1	32	7.0
民生費	120	0.0	120	0.0	0	0.0
衛生費	415,704	68.4	417,880	68.5	△ 2,176	△ 0.5
公債費	189,992	31.3	189,992	31.1	0	0.0
合計	607,708	100.0	610,266	100.0	△ 2,558	△ 0.4

4 物品

物品の現在高（取得価額50万円以上）

区分	前年度末 現在高	令和6年度中 増減高	令和6年度末 現在高
乗用自動車	2	0	2
音響機器	2	0	2
遺体保冷庫	3	0	3
祭壇	2	0	2

5 基金

基金の現在高

(単位：円)

区分	前年度末 現在高	令和6年度中増減高		令和6年度末 現在高
		増	減	
財政調整基金	40,576,984	28,389	0	40,605,373
墓地管理運営基金	169,803,335	293,022,726	236,959,000	225,867,061
合 計	210,380,319	293,051,115	236,959,000	266,472,434

※出納整理期間中の墓地管理運営基金への積立金 1,250,000 円

6 まとめ

令和6年度稻城・府中墓苑組合の一般会計及び墓地特別会計における歳入歳出決算の執行状況、及び事務事業の実施状況を審査したところ、事務は適正に処理されていると認められた。

令和6年度決算では、一般会計においては、歳入の予算比収入率が 107.9%、歳出の執行率が 89.7%であり、墓地特別会計においては、歳入の予算比収入率が 94.3%、歳出の執行率が 91.6%であった。

歳入面では、一般会計全体で前年度比 8.0%の増となっているが、内訳を見ていくと、特に南山ホール使用料が大きく伸び、式場使用料は前年度比 33.8%増、法要室使用料は同 10.6%増、靈安室使用料は同 45.8%増となった。しかしながら、年度ごとにばらつきがあるため、引き続き稼働率の向上に向けた策を講じ、収入確保に努めてもらいたい。

墓地使用料収入については、有期限芝生墓地が前年度比 19.2%増加したものの、全体では 5.7%の減となった。開設から 10 年が経過し、少しづつ使用料収入が減少している。これは、墓地需要が両市民へ行き渡ったことによるものと捉えられ、減少しているとはいえ、安定的な収入を確保できているといえるのではないか。残数が少なくなってきた芝生墓地については、募集終了後に使用料収入が大幅に下がることが見込まれるため、先を見据えた運営を期待する。

歳出面は、概ね予算通りに執行されていることを確認した。

最後に全体として、南山ホールの利用状況及びそれに伴う使用料収入が過去最大になったということだが、なお空きがある状況である。引き続きの課題であることを認識いただき、稼働率が更に増えていくよう様々な策に取り組んでいただきたいと思う。また、開設にあたって起債した債務については、無事に償還したことを聞き安心した一方で、今後の修繕等を見据えて基金を積み立てていくなど、安定的な組合運営に努めていただくようお願いしたい。